



# Fグループ会報

## 苦難のときは至福のとき

音楽学部長 渡邊 明

小雨の煙る梅雨の最中、私は山手のキャンパスを一通り歩いた。4号館練習棟の前に来たとき、その建物は水気をたっぷり含んだ緑の木立に包まれて、語るべき多くのことがありながらも寡黙にたたずんでいた。門扉は鍵で閉ざされていて“もう入ってはいけないよ”と私を追った。そこには風格さえ感じられた。私は入り口の石段からしばらくの間その佇まいをじっと見つめ、そして心の中でそっと力をねぎらった。

本年度から大学機能の中心が緑園キャンパスに移り、文学部も全面移転した。緑園キャンパスには大変立派な文学部棟と図書館が建ち、大学は新たな飛躍のスタートに立った。山手キャンパスに残るのは、大学では音楽学部のみとなり、音楽学部の教育は、本来の5号館と旧家政科であった6号館を使って行われている。そして中高の敷地の一隅にある4号館練習棟は、老朽化の危険から廃止され11号館(旧学生寮)に移転することとなったのである。この4号館の廃止には歴史の流れを感じざるを得ない。なぜならこの4号館こそ、フェリス音楽教育50年の発祥の建物だからである。かつて三宅洋一郎先生等によって始められた本格的な音楽の教育活動は、長い間この小さな二階建ての小屋で行われていた。奇しくもこの4月に團伊玖磨先生が訪問先の中国蘇州で急逝され

た。團先生は1947年から1955年の間、正にフェリスの音楽教育の創成期に関わられた方である。

昨年は中田喜直先生がそして今年は團先生が他界され、三宅先生以来の50年の理想主義教育は、4号館の廃止とともにひとつの終わりを告げたのだと思われて仕方がない。

去る6月10日に開かれたFグループの総会には、倉長治子、田中順、大島君子の諸先生方が揃って出席された。正にこの50年を育み見守られた先生方が、音楽学部の節目の時に描かれたことに私は安堵し心で涙した。なぜなら21世紀を迎える社会はいま不況と少子化の嵐の真っ只中にあり、日本の私立大学の半数近くが定員割れとなっているとの報道もある。音楽学部も本年の入試は誠に薄水を踏む思いであったし、これからの10年はその意味で存続のための苦難の時期となるであろう。総会のスピーチの中で田中順先生は、かつて1951年に短大音楽科ができる以前の専門学校時代の10年間は、フェリスの音楽教育の存亡に関わる程の苦難の時期であったと述懐されていた。そしてさらに“苦難のときは至福のとき”と言付け加えられた。

私はその時はっと思い、これは今の私たちに何よりも言葉であると受け取った……。

## 2001年度

## Fグループ総会開催される

6月10日日曜の午後、横浜崎陽軒本店にて2001年度総会が開かれ、佐竹学長、渡邊音楽学部長をはじめ1回生から60回生まで総勢96名が集いました。



▲佐竹明学長「文学部は緑園に移転しました。これからは音楽学部とより連絡を密に……。」



倉長治子名誉教授「フェリスならではの音楽が、日本中に響き渡ることをお祈りして……乾杯！」



▲渡邊明学長「50周年を迎えて転機が訪れています。今こそフェリスファミリーの底力を！」



▼またクラス会も一緒にしらやいました——8回生

▼10年ぶりの再会で、話に花が咲きまくり——23回生



## 21世紀、Fグループの新たな発展を願って

Fグループ会長 中田幸子



Fグループの皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。今年も会報をお届けする季節になりました。始めに21世紀の幕開けに行われました会長選挙に於いて、再び会長に任命されましたこと、ここにご報告させていただきます。

昨年5月、夫中田喜直が天に召され、これからは夫の音楽とともに静かな人生を過ごしたいと思っておりましたが、どうしてももう一期会長を、とのお言葉に暫くは躊躇いましたが、夫が40年勤めた思い出のあるフェリス女学院と、夫亡き後のFグループの暖かい励ましや、力強い応援で勇気付けられたことを思うとき、もう一度頑張ってみようかなとお引き受けする事にいたしました。現役員のフェリス精神「For others」が身についた行動力と、抜群なチームワークの素晴らしさに助けられて再び3年間を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

Fグループの年間活動、又、学校の現在の様子はこの会報をご覧いただければお分かりになると思います。我々の役割は豊かな土壤を持ったFグループの若い才能、又隠れた才能を見出し、演奏の場や研修に参加するチャンスを与えるお手伝いをすることだと思っています。その為にも選ばれた役員は一丸となって明るく透明で開かれたFグループを作り、益々活性化することに努力をしなければいけないと思っています。

21世紀を迎えた今年、フェリス女学院音楽科は設立50周年を迎えます。又フェリス女学院は130周年記念事業としてキャンパスのリフォームにとりかかっています。それにかかる費用は莫大です。Fグループでは少しでもそのお役に立てるならばと今年、11月21日(水)県立音楽堂に於いて募金コンサートを致します。

山手の丘にたくさんの素晴らしい音楽を残してくださいました今は亡き3人の諸先生方(山田一雄、中田喜直、團伊玖磨)の思い出話や作品を中心におおくりしたいと思っています。沢山の方々のおいでをお待ちしています。

フェリス女学院とFグループの発展のために皆様の暖かいご協力をお願い致します。

## Fグループ会長選挙報告

中田幸子さん(9回)再選される！

去る4月12日(木)に開かれました学年幹事会に於て、任期満了に伴う会長選挙を実施しました。

会長候補者は推薦候補として中田幸子さんお一人でしたので、出席学年幹事全員による信任投票を行い、全員一致で中田幸子さんに決定しました。

ご出席および委任状を下さいました学年幹事の皆様のご協力を心より御礼申し上げます。

選舉管理委員一同

## 《新役員紹介》

会長	中田 幸子(9回)	
副会長	大谷 圭子(11回)	柴田由紀子(19回)
書記	大坪 サイ(15回)	篠崎 幹子(26回)
会計	久保井明子(31回)	有坂 緑(40回)
企画	比留間和子(16回)	井上眞記子(22回)
	小林 周子(29回)	
会報	佐藤 ゆみ(44回)	西 靖美(44回)
常任	井上久美子(17回)	竹内真知子(18回)
	青島 陽子(42回)	金子 明子(43回)
事務局	木村あづさ(43回)	

フェリス女学院音楽科  
設立50周年記念特集

# ～学生時代を振り返って～

## &lt;生涯の出発点&gt;

大島 久子（1回）

何の設備の整わないまま、第二次大戦後間もなく音楽科は創設され、私たちは世の中も混沌とし戦争後遺症のまま食べ物、日用品、楽譜など何も無いままのフェリス音楽科入学でした。私たちの年齢に近い若い先生方は始め戸惑いつつ、次第に両者共食るように授業に熱がこもり始めました。未来に光が灯された時代の到来は私たちも先生方も同じで、音楽会や映画、ハイキングなど多くの時間を共有し、お互いに刺激し合いました。その間先生たちの音楽に立ち向かう姿まじいまでの練習風景、音楽家の生き様の姿勢を垣間見て過ごしました。私が最も影響を受けたのは園伊政磨先生のレッスンで、課題はいつも大量なのですが、それらに全部目を通されそれが時代様式の中でどう使われるか、あらゆる分野の作品から例を出されました。興が乗るとオペラ全曲を弾かれたりして、5時間から1日がかりになり、学校では時間が足りず友達と2人でよくご自宅まで伺ったものでした。

朝の約束でも先生の創作意欲溢れる時間にぶつかると、4時間でも5時間でも、後ろの席で作曲中の先生を待ちました。その間に多くの作品が誕生し、世の中に発表されていました。そして必ず作品の感想を正直に述べるよう促されました。先日の園先生の中国での急逝を伺い心から感謝と哀悼の意を捧げております。

1. 紀尾井ホール、津田ホール。音響良く程良い広さ
2. バイオルンの足鍵盤の上達
3. 慰めの音楽（デュアメール）
4. ニュース、地球の自然番組、洋画劇場など
5. エドヴィン・フィッシャー（ピアニスト）

## &lt;回想のアンサンブルクラブ&gt;

天崎 郁子（29回）

私が在籍していた頃の音楽科は、一学年平均120名程、そのうち管弦専攻はFl. Vl. Vc.のみで計0～5、6名といった配当でした。ところが我々29回生には、珍しく5名もVl.専攻がいたので、Fl.科の友人と相談して「アンサンブル・クラブ」なるものを作ろうということになりました。第1回公演は2年生の時、山手5号館541教室。Vc.やCb.は知り合いを引っ張ってきて、ブランデンブルク協奏曲第4番他を演奏しました。プログラムには横浜銀行を始め、元町の色々なお店から無理やり広告をいただきました。

このときの楽しさに味をしめ、翌年にはイギリス館に会場を移し、作曲科の友人の新曲なども入れ、確か1枚500円の入場券を売りました。そのあがく席が不足しそうになり、浅井さんに頼み込んで、学校のパイプ椅子を車で会場まで運んで頂いたのです。この怖い物知らずの演奏会は、休憩時にお出ししたお茶とお菓子のおかげで、結構好評でした。その浅井良雄さんは現在も元気で、山手校舎の管理を一手に引き受けられておられ、今もお会いするたびに、その時のことが思い出されます。こんな無難な企てをし、お咎めを受けなかった私たちは、本当に恵まれていたと言えましょう。

1. 東京文化会館。最上階迄音が良く通るので。
2. 石けんづくり。
3. ヒカルの巣（集英社少年ジャンプコミックス）
4. CATVの吉本新喜劇、笑っていいとも
5. ミッシャ・エルマン（ヴァイオリニスト）

## &lt;フェリスの心 いつ迄も！&gt;

栗原 明子（15回）

元町の相変わらず苦しい坂を登りながら、ふと考えました。三宅先生、佐藤先生、中田先生、思い出深い先生方が亡くなり、20世紀も終わったのだと……。

私は15回生は37名、寮生と通学生と半分位でした。今年廃止された4号館が唯一の校舎でした。階段下の楽譜庫、隣の音できこえない位小さなレッスン室、倉長先生のリズムバッヂのソルフェージュ、知らない事ばかりの佐藤先生の音楽史、中田先生の賛美歌伴奏、和声をつけた音階、三宅先生のピアノ曲の分析、朝早くから夜遅く迄4号館は音があふれています。それよりも楽しかったのは中田先生の校外レッスン“お茶とお話”いつ迄も忘れない思い出です。

現在、私たちは卒業後30数年、人生後半、忙しい時はとっくに過ぎました。でも15回の仲間が集まると、学生時代と変わらず、おしゃべりに夢中です。音楽会、お料理、旅行、クラス会、何かにつけてよく集まります。年の割には若いわね、と自負しています。これも音楽をずっと続けていたお陰と思っています。

音楽科も私たちの頃とは比べものにならない程、発展しました。でも、宗教に結びついた音楽、アットホームな雰囲気、いつ迄も変わらない嬉しいと思います。同時に音楽科のますますの発展をお祈りいたします。



「これで一学年です」

## &lt;今春フェリスを卒業して&gt;

加藤 由佳（50回）

当時の学生生活を振り返って、と言っても、つい最近まで学生で、まだよく分からぬ部分も多いのですが、卒業して、まだ数ヶ月なのに、大学時代の大切な仲間達は、それぞれの道を歩いています。

フェリスでの生活は、私にとって決して楽なものではありませんでした。自分が音楽を目指して勉強はじめたのは、高校3年生になってからだった事もあり、レッスンと試験のための勉強に終始していました。というと、まじめに勉強していたように聞こえますが、ただ空回りして、投げだす事も度々でした！

そのような中、私にとっての支えはフェリスで出会った友人達でした。本当に、沢山の楽しい思い出があります。バカな事をしても、許しあえる、何でも話せる仲間です。その仲間達と離れて、自分自身を見つめ直した今日指すものが、少しづつ見えてきたように思います。

在学中には気づかなかった事ですが、音楽というものの種類が、先生方や、多くのフェリスで出会った方達によって、私の中にまかれていたのでした。

今、幸いにもディプロマに進んでいる自分の環境の中で、それを大事に育てていきたいです。そして、各々の道に分かれても、フェリスを卒業した仲間達とこれからも共にがんばっていきたいと思っています。



「実は昨年秋のこと……」

音楽学科設立50周年を記念して、第1回生からほぼ15年ずつ異なる卒業生の方々に、学生時代をテーマに思いを綴っていました。

又簡単な、しかし回答しにくい、おしつけなアンケートにも快くお答えいただきました。

更に当時の写真をお貸しくださった方、誠にありがとうございました。（会報委員）

## &lt;アンケート質問内容&gt;

- 1) 好きなホール、またその理由
- 2) これからやってみたいこと
- 3) 愛読書
- 4) いつも見ているテレビ番組
- 5) 尊敬する演奏家、作曲家……

1. 紀尾井ホール。木のホールで響きが良い。
2. 旅行、ピアノ、ロシア語……何でもチャレンジ。
3. NHK今日の料理、趣味の園芸。
4. NHK大河ドラマ「北条時宗」
5. ベートーヴェン（演奏したい作曲家）

Fグループ事務局よりお知らせ

## 『山手の丘に音楽誕生』 よそおいも新たに！



10年前、後輩たちに音楽科の歴史を伝えてゆく趣旨のもとに出版された『山手の丘に音楽誕生』。音楽学部開設10周年を機にその後の学部の歩みを加筆した追補版ができました。本文はもちろんですが巻末の資料には各年度の行事や講師名、授業料まで載っていて楽しめます。是非ご一読ください。

税込定価 2,000円（お申し込みは事務局まで）

1. オーチャードホール。なんとなく。
2. 自分にとってプラスになる事はすべて。
3. アルケミスト。
4. 世界ウルルン滞在記など。
5. 沢山いらして……。

# Fグループ 支 部 だ よ り

## f 北支部

支 部 長 工藤 羊子 (30回)  
副支 部 長 福井 英子 (10回) 平岩由美子 (24回)

4月28日、久しぶりに札幌で同窓会が行われました。出席者は残念ながら、2名と寂しかったのですが、お招きした、神戸倫樹美先生率いる、ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団の演奏はすばらしく、心が洗われる一日でした。当日、同窓会の前に、札幌中央教会で演奏会がありました。神戸先生の楽しく興味深いお話をえつつ、同窓生である小澤絵里子さん他、野口真紀さん、橋爪香織さんの4人のメンバーによる四重奏でした。プログラムは、バロックから現代曲まで幅広く、素朴な音色のガンバに魅了され、幸福な一時を過ごしました。中でも廣瀬平の「高雅な猫のための組曲」は、ガンバが「ニャーン」と鳴くので愉快でした。その後、同窓会の行われたホテルでも再び演奏していただき、恐縮しつつも、クラシックの他に、タンゴやボサノバまで贅沢に楽しみました。本当に、北海道まで来てくださいて、感謝です。

報告／坂本 真理子



ガイヤルドに合わせて、軽やかにステップ！

## f 中部支部

支 部 長 牛込 まり (25回)  
副支 部 長 大庭千恵美 (25回) 浅岡 里江 (43回)  
会 計 森 純子 (45回)  
ジュニア係 都筑 典子 (23回) 香川 香織 (43回)  
役 員 須田美奈子 (34回) 安藤 和美 (45回)  
小島 奈美 (46回) 小島久美子 (49回)

Fグループ中部支部では毎年3回活動を行っておりまます。昨年度のふれっしゅコンサートは出演者が少なかったので内容の濃い演奏会になりました。

11月には中部支部発足20周年記念として“中田喜直の世界”を開演しました。中田先生には3年前ぐらいからお願いし続け、やっと実現となったのです。本当に残念



“中田喜直の世界”会場が一つとなってフィナーレの合唱でしたが中田先生には来ていただけない事になってしまいました。中田会長がお忙しい中駆けつけてくださり、先生のなつかしいエピソードなど交えた、熱気溢れる満員のコンサートとなりました。最後はお客様といっしょに合唱しました。\*

～今年度より役員が交代します。全てを築いてくださった峯澤さんのあとを引きつぐのは、大変荷が重いのですが若い人達がたくさん役員を引き受けってくれて、とりあえずスタートしました。今、りてら・りべるて・白菊会と交流を持つ会を開こうと準備中です。

報告／牛込 まり

## f 関西支部

支 部 長 平松 都 (20回) 「子供が社会人になり、又何ら音楽を楽しみたいと思っていました折今回お手伝いさせていただく事になり、大いに楽しみたいと思います。」

副支 部 長 深堀 好子 (20回) 「先輩の方々に教えて頂いて充実した楽しい会となるよう願います。」  
森本 晴美 (22回) 「合唱団、ピアノ教室、ボランティアと楽しみながら、2人の先輩と一緒に盛り上げようと張り切っています。」

昨年11月8日、フェリス女学院関西支部の同窓会が、奈良ガーデンホテルにて行われました。Fグループから同窓生10名の参加があり、広島在住の26回生吉田説子さん、岡崎洋子さんの歌とピアノの演奏で会が盛り上がりました。お二人はジョイントコンサートをされる等、今までお演奏活動をされていらっしゃいます。今年に入り役員の交替があり、20回、22回生の3人が幹事としてお手伝いをさせて頂く事になりました。まだ暗中模索の状況ですが、3人で知恵を出し合い1人でも多くの方に出席して頂けるような会となりますように努力してまいりたいと思っています。具体的には、まだ、これからですが、前年度の活動方針で受け継げる物は、さらに具体的な方向へ進めてみてもいいのではないかと考えています。又、少し勉強もできる楽しい会にもできれば、と思いをふくらませています。まだ、出席なさった事のない方、是非一度、お出かけ下さい、一人でも多くの皆様にお会いできますのを楽しみにいたしております。

報告／平松 都

## f 九州支部

支 部 長 伊藤 和子 (24回)  
副支 部 長 大賀 黒 (28回) 長 千英子 (23回)  
書 記 村上 京子 (24回) 小野 直子 (30回)  
会 計 市岡 洋子 (30回) 中尾みどり (31回)  
幹 事 池田 良子 (20回) 安波 裕子 (24回)  
永田 弓子 (26回)

いつもフェリス女学院につらなる同窓生として感謝をしております。私共、役員会を年に10回開いております。初夏に総会、ミニ・コンサート、会食。秋には中高、短大、大学との合同の西南支部の同窓会を持ちます。10月31日にFグループ会長の中田幸子様と三宅春惠先生をお迎えいたしました。故中田喜直先生のいろいろな思い出話や春惠先生に数曲、歌も歌って戴きました。いろんな学部の卒業生の出席者の皆様にとても喜んで頂けました。今回のお世話役のFグループ九州支部としても、こんな嬉しい事はありません。ありがとうございました。

今年は6月30日に大学の生涯課より福岡でオープンカレッジとして小塩 節先生、三田村雅子先生の講演会が予定されています。是非、参加をしたいと皆様にお声かけをしている所です。

又、来年こそはと支部主催のコンサートをやりたいと企画でございます。今後共、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

報告／伊藤 和子

フェリス女学院創立130周年記念事業  
◇◇◇ 募金コンサート ◇◇◇

～山手の丘に音楽誕生、三人の音楽家～

## 『山田一雄・中田喜直・團伊玖磨』

かつてフェリスの教壇に立たれた三人の先生方の珠玉の作品による募金コンサートを開きます。先生方が残された功績に感謝を捧げ、フェリスの更なる発展を願って企画致しました。当日は一人でも多くのお客様をお迎えし、このコンサートを成功させたいと思っております。皆様のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

● 日 時 11月21日(木) 18:30 ~ 20:30

● 場 所 県立音楽堂

主 催 フェリス女学院音楽学部同窓会  
(Fグループ)

入 場 料 学生=3,000円、一般=4,000円

お問合せ：実行委員長 柴田由紀子

Fグループ事務局(木)

T/F 045(681)6740

## Fグループ Joint Concert

日 時 9月15日(土・祝) 14:00 開演

場 所 フェリスホール(山手校舎)

会 費 2,000円

出 演 者 声 楽：小坪 祥子 (50回)

伴奏：大原美緒子 (50回)

ピアノ：福原 洋子 (46回)

フルート：金子 泰子 (50回)

伴奏：田口 涼子 (48回)

2台ピアノ：徳江真理子 (48回)・三室 咲子

声 楽：松岡 理枝 (35回)

伴奏：梅田 明子

ピアノ：久保井明子 (31回)

声 楽：大橋多美子 (20回)

伴奏：藤江 博子

お問合せ：企画委員 井上真記子

Fグループ事務局(木) T/F 045(681)6740

## Fグループ 研修会

### “チェロの魅力を語る”

～演奏とお話～ チェロ：藤原 真理

ピアノ：堀 由紀子

日 時 10月8日(月・祝) 14:00 開演

場 所 フェリスホール(山手校舎)

会 費 1,000円

お問合せ：企画委員 比留間和子

Fグループ事務局(木) T/F 045(681)6740

## Fグループ ティータイムコンサート

### “お茶とお菓子と音楽と…”

美味しいお菓子とお茶を頂きながら、素敵な音楽とおしゃべりを楽しみにいらっしゃいませんか？

桑原妙子さん (10回生) を囲んで～お話と合唱～

合唱：チェンバークワイア

日 時 11月8日(木) 14:30 ~ 16:00

場 所 山手6号館第1別館 同窓会館1Fホール

会 費 1,000円(含茶菓代)

10月1日より申込先着 50名

お問合せ：企画委員 小林周子

Fグループ事務局(木) T/F 045(681)6740

## クリスマス礼拝のご案内

日時 12月8日(土) 13:30~  
 会場 フェリスホール  
 説教者 太田愛人先生  
     (日本基督教団上星川教会牧師)  
 主催 フェリス女学院全同窓会  
     (りてら・リベルて・白糸会・Fグループ)

新世紀を迎えて、最初のクリスマス礼拝。今年もフェリスホールで執り行ないます。皆様、どうぞご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ是非お出かけ下さい。

尚昨年のクリスマス献金は160,000円でした。

献金先

日本ユニセフ協会	40,000円
日本キリスト教海外医療協力会	40,000円
日本医療伝導会衣笠病院	40,000円
難民を助ける会	40,000円
(カンボジアの対人地雷除去)	

## 慶祝

中島省吾理事長  
 獲三等旭日中綬章受勲  
 星野めぐみ(48回)  
 2000年クレードルピアノコンクール第2位  
 星野めぐみ(48回)  
 2001年クロード・カーン  
     ナショナルピアノコンクール第1位  
 高須亜紀子(41回)  
 2001年「第9回音楽と地球・器楽奏者と作曲家のための国際コンクール」作曲部門第1位

## 弔意

2000年5月3日 中田喜直 名誉教授 ご逝去  
 2000年6月11日 多田光子先生 ご逝去  
 2000年9月2日 白水明子(27回) ご逝去  
 2001年5月16日 國伊政磨先生 ご逝去

Fグループ 来年度 総会決定!!  
 2002年6月16日(日)

於: 横浜崎陽軒

五年ぶり、十年ぶり、?十年ぶり……  
 などのクラス会にも是非ご活用下さい。

## 事務局だより

- ◆住所・電話・姓などの変更は旧姓・整理番号(宛名ラベル右上「000M000」)とあわせて事務局までお知らせ下さい。又、同封の不明者リストの中に連絡先をご存じの方がいらっしゃいましたら同様にお知らせ下さい。
- ◆同窓会室1階はピアノもあり、クラス会、ミニコンサート、練習等にお使いいただけます。50名収容可能で使用料は無料です。ご予定のある方はご連絡下さい。
- ◆宛名ラベルの印刷を1枚(24面)80円で承っております。クラス会のお知らせ等、発送の折にご利用下さい。
- ◆慶弔連絡のお願い 同窓生で貰をいただいた方、あるいはお亡くなりになった方がいらっしゃいましたらご一報下さい。

事務局の開室は  
 毎週木曜日 10:00~17:00  
 TEL・FAX 045(681)6740

## Fグループ

## 後援演奏会

(2000.9~2002.3)

• Yasuko Sado First Recital 佐渡寧子(41回)

共演-小椋佳(pf)

00.9.16 サントリー小ホール

• 渡邊泉ピアノリサイタル 渡邊泉(46回)

00.10.1 山手ゲーテ座

• 江口元子リサイタル 一古稀を記念して-

共演-ダルトン・ボールドウィン(pf)

ゲスト-金井隆子、山崎晶子、中尾かつ江、

袴見一美、石村優生子、福岡夏絵

00.11.19 王子ホール

• ユルンヤーコブ・ティムを迎えて~室内楽のタペ

共演-ユルンヤーコブ・ティム(Vc)、

神代恭子(Vn)、河合訓子(Va)

01.4.11 神奈川県民小ホール

• ジョイントリサイタル 滝井美雪・山崎友加(47回)

01.5.19 ディアラコウとう

• 青島陽子ピアノリサイタル 青島陽子(42回)

01.6.28 横浜みなとみらい小ホール

• 増矢馨子ピアノリサイタル 増矢馨子(38回)

01.7.13 山手ゲーテ座

• 大島君子「午後の音楽会」 大島君子(3回)

共演-渡辺基一(Vn)、渡部玄一(Vc)

01.9.24 神奈川県民小ホール

• 増矢馨子ピアノリサイタル 増矢馨子(38回)

02.3.8 横浜みなとみらい小ホール

## Fグループ

## 後援申し込みについて

同窓会では常に向上心にあふれた会員の演奏会を後援しています。

対象は同窓生、職員などフェリス女学院大学音楽学部同窓会関係者です。

演奏会の2ヶ月前までに所定の申込用紙にご記入の上、事務局にご提出下さい。

後援については毎月第一木曜日の役員会に諮り決定されますので、その後の印刷物に「後援: フェリス女学院大学音楽学部同窓会」とお入れください。

## 2000年度フェリス女学院全同窓会会計報告

<白菊会・りてら・リベルて・Fグループ>  
 (2000年6月1日~2001年5月31日)

前年度繰越金		1,380,069円
収入	全同窓会会費	280,000
	利 息	912
小計		280,912
合計		1,660,981
支出	各支部へ祝儀	60,000
	関西支部出張費	53,000
	クリスマス礼拝関連費	71,920
	慶弔費(横濱駅前ビル会議室・大学教諭会)	155,155
	合計	340,075
	翌年度繰越金	1,320,906

翌年度繰越金 1,320,906円

## 2000年度 Fグループ

## 会計報告

(2000.4.1~2001.3.31)

## &lt;収入の部&gt;

項 目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	3,800,000
総会会費	150,000	225,000
研修会会費	150,000	121,000
ティータイム会費	30,000	50,000
ジョイント・コンサート	300,000	388,000
宛名シール	15,000	21,510
雑収入	10,000	33,000
銀行利息	1,000	2,577
小計	4,656,000	4,641,087
前年度繰越金	3,473,496	3,473,496
収入合計	8,129,496	8,114,583

定期預金 12,629,615円

貯蓄預金 1,966,828円

名簿積立金 1,764,307円

## &lt;支出の部&gt;

項 目	予算額	決算額
I)運営費	[1,200,000]	[795,365]
会議費	60,000	12,820
印刷費	60,000	51,498
通信費	10,000	4,900
人件費	350,000	308,000
交際費	100,000	24,948
事務費	40,000	31,343
出張費	100,000	20,660
交通費	300,000	276,000
学生幹事会費	100,000	52,696
特別委員会費	30,000	12,500
予備費	50,000	0
II)活動費	[3,500,000]	[2,809,131]
総会関係費	800,000	797,175
研修会関係費	380,000	341,330
ティータイム関係費	150,000	134,231
会報関係費	750,000	735,989
ジョイント・コンサート	320,000	264,463
リサイタル後援費	100,000	60,525
支部関係費	600,000	395,600
慶弔関係費	20,000	79,818
予備費	20,000	0
III)諸会費	[670,000]	[670,000]
全同窓会会費	70,000	70,000
維持協力会	300,000	300,000
130周年募金	300,000	300,000
IV)積立金	[2,200,000]	[2,178,263]
名簿積立金	200,000	200,000
その他積立金	1,000,000	978,263
積立金	1,000,000	1,000,000
V)予備費	[559,496]	[0]
小計		6,452,759
剩余金		1,661,824
支出合計	8,129,496	8,114,583